

# 『RBS マネジメントレビュー』執筆要項

## 1. 総則

- ・ RBS マネジメントレビューへの投稿論文等の執筆は本要項に従う。

## 2. 使用言語

- ・ 原稿は日本語あるいは英語とする。

## 3. 分量と形式

- ・ 論文、ビジネスケースは 20,000 字（英語の場合は 10,000 words）以内、研究ノートは 10,000 字（英語の場合は 5,000 words）以内、書評は 5,000 字（英語の場合は 2,500 words）以内とする。この長さを超えるものでも、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。
- ・ 原稿は横書きとし、A4 用紙を使って、40 字×40 行で印字する。執筆の際は所定のテンプレートを使用すること。
- ・ 句読点は全角の「。」と「、」を用いる。括弧は全角括弧を使用する（参考文献リスト除く）。
- ・ 論文、研究ノート、ビジネスケースには本文のほか、日本語・英語題名（副題）、日本語要約（500 字以内）、英語要約（200 words 以内）、キーワード（日本語・英語それぞれ 3～5 語）を記載する。英語原稿の場合、日本語題名、日本語要約、日本語キーワードは省略することができる。
- ・ 章、節、項は、全角（英語原稿の場合は半角）で「I.」「1.」「(1)」のように番号をふる。「はじめに」や「おわりに」等をつける場合にも、番号をふる。
- ・ 本文中の数字は原則として算用数字（半角）を用い、漢数字は用いないが、どうしても必要な場合（固有名詞や概念）には、その限りではない。
- ・ 図・表のタイトルは図 1、表 1（英語原稿の場合は Table 1、Figure 1）のように記載する。掲載した図・表については、本文で言及すること。
- ・ 査読付き論文の場合、科研費など研究助成に関する情報や口頭発表に関する情報等、執筆者が類推できる内容は投稿時には記載しない。論文の掲載が決定した後に加筆することとする。

## 4. 文中での引用及び注の記載方法

- ・本文中の引用文献の記載方法は、原則としてアメリカ心理学会が定める方式（APA 方式）に準拠する。
- ・本文中に引用文献を明記する際は、注ではなく本文中に記す。
- ・注は補足的な説明など最小限にとどめる。注を必要とする場合は、脚注ではなく後注としてまとめ、その際「1)」、「2)」のように注番号をつける。本文中の注の番号は、該当箇所の右肩に「○○<sup>1</sup>」のように上付き数字でつける。
- ・文献を引用するときは、Pike (2015)、鈴木 (2020) のように著者名、出版年を記す。括弧つき書式を使用するときは、(鈴木, 2020) のように半角コンマ「,」を入れ、半角コンマの後には半角スペースを入れる。全角丸括弧を使い、前後に半角スペースは入れない。なお、刊行されることが決定しているが未刊行の文献を引用する場合、(高橋, 印刷中)、(Smith, in press) のように記す。
- ・日本語文献で2名による共著の場合、田中・鈴木 (2000)、(田中・鈴木, 2000) のように全角中黒「・」を用いて繋ぐ。欧文文献の場合は、Goeldner and Ritchie (2009) のように「and」を使う。また、本文中で括弧を使って文献を引用する場合には、(Goeldner & Ritchie, 2009) のように「&」を使用する。
- ・著者が3人以上の場合には、木村他 (2020)、(木村他, 2020) のように初回から「第一著者他」とする。欧文文献の場合は Ritchie et al. (2013)、(Ritchie et al., 2013) のように「第一著者 et al.」とする。
- ・括弧つき書式で複数の文献を同時に引用するときは、(Kotler & Keller 2016; 佐々木, 2007) のように半角セミコロン「;」でつなぐ。半角セミコロンの後には半角スペースを入れる。文献は参考文献リスト掲載順に記載する。
- ・同一著者に出版年が同じ文献が複数ある場合には、(鈴木, 1997a)、(鈴木, 1997b) のように区別する。
- ・翻訳書を引用する場合には、(Creswell & Clark, 2007/大谷訳, 2010) のように訳者名と翻訳書の出版年を記載する。監訳者がいる場合は (Sarasvathy, 2008/加護野監訳, 2015) のように監訳者名を記載する。
- ・英語原稿での引用文献の提示方法については最新の APA スタイルに従うこと。

## 5. 参考文献リストの作成方法

- ・論文末に本文で引用した文献の詳細を参考文献として記載する。本文で引用していない文献については記載しない。
- ・参考文献は、欧文文献・日本語文献の順に記載し、欧文文献は著者のラストネームのアルファベット順に並べる。日本語文献については著者の姓のアイウエオ順に並べる。同一著者に複数の文献がある場合には、出版年順に記載する。
- ・欧文文献のファーストネーム、ミドルネームは、原則としてイニシャルで表記する。

- ・ 参考文献の表記の基本は以下の表記例に記載の通りとする。その他、表記例に記載のない種類の文献の記載方法、英語原稿での参考文献リストの作成方法については最新のAPAスタイルに従うこと。

## 6. 参考文献リストでの文献表記例

### (1) 書籍

Kotler, P. T., & Armstrong, G. (2013). *Principles of marketing* (15th ed.). Pearson.

入山章栄 (2012) 『世界の経営学者はいま何を考えているのか——知られざるビジネスの知のフロンティア』 英治出版.

### (2) 編著

Dallago, B., & Tortia, E. (Eds.). (2019). *Entrepreneurship and local economic development: A comparative perspective on entrepreneurs, universities and governments*. Routledge.

石崎祥之・廣岡裕一・大島知典編 (2022) 『変化する宿泊ビジネス』 文理閣.

### (3) 編著の中の一章（ブックチャプター）

Ikeji, T., & Nagai, H. (2020). The expansion of peer-to-peer accommodation rentals in Japan: Issues and challenges. In R. Sharpley, & K. Kato (Eds.), *Tourism development in Japan: Themes, issues and challenges* (pp. 257–275). Routledge.

藤田武弘 (2013) 「食料・農業と地域ブランド」 大橋昭一編 『現代の観光とブランド』（pp. 165-172）同文館出版.

### (4) 雑誌論文

宮城博文・角谷尚久・橋本俊作 (2023) 「ホスピタリティ産業への就職決定プロセスに関する質的研究——在沖縄県の大学出身者を中心に」 『観光マネジメント・レビュー』 第3巻, 32–45.

Wichmann, J. R. K., Wiegand, N., & Reinartz, W. J. (2022). The platformization of brands. *Journal of Marketing*, 86(1), 109-131.

### (5) 翻訳本

Sarasvathy, S. D. (2008). *Effectuation: Elements of entrepreneurial expertise*. Edward

Elgar. [加護野忠雄監訳, 高瀬進・吉田満梨訳 (2015) 『エフェクチュエーション——市場創造の実効理論』 碩学舎.]

(6) 新聞記事

- Lloyd, G. (2018, August 16). Coral bleaching a centuries-old problem. *The Australian*, p. 1.
- Tan, C. (2023, November 10). Petrol, diesel pump prices dip as oil prices slip on weaker economic outlook. *The Straits Times*. <https://www.straitstimes.com/singapore/transport/petrol-diesel-pump-prices-dip-as-oil-slips-on-weaker-economic-outlook>
- 真海喬生 (2023) 「北米トヨタ、米国の EV 向け電池工場に 1.2 兆円追加投資へ」 『朝日新聞』10 月 31 日. <https://www.asahi.com/articles/ASRB07TX6RB0ULFA03Z.html>
- 田中誠之 (2023) 「侍キャンプ 村上 4 番の輝き」 『読売新聞』2 月 19 日, p. 21.
- 読売新聞 (2023) 「訪日外国人客、10 月はコロナ禍前を初めて上回る…中国は 64・9%減」 11 月 16 日. <https://www.yomiuri.co.jp/economy/20231115-OYT1T50163/>

(7) ウェブサイト、ウェブサイト掲載レポート等

- World Health Organization. (2023). *Progress report on the United Nations Decade of Healthy Ageing, 2021-2023*. <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/374192/9789240079694eng.pdf?sequence=1>
- World Tourism Organization. (n.d.). *Glossary of tourism terms*. Retrieved November 15, 2023, from <https://www.unwto.org/glossary-tourism-terms>
- 国土交通省 (2023) 『令和 5 年版国土交通白書』  
<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r04/hakusho/r05/index.html>
- 文部科学省 (n.d.) 『文部科学省の沿革』 最終閲覧日2023年11月19日.  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/soshiki2/mext\\_02321.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki2/mext_02321.html)
- ※公表年が不明の場合は (n.d.) と記し、最終閲覧日を記入する。

以上

附則

この執筆要項は 2024 年 2 月 22 日の RBS ビジネス創造リンケージ運営委員会の承認を受けて、2024 年 3 月 1 日から施行する